

『だれでもできる 有機のイネづくり』第1刷（2024年3月5日発行）に、以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

ページ	項目	正	誤
口絵4ページ	適正な栽植密度で雑草抑制	坪当たり70株	1㎡当たり70株
37ページ	図5 ①文中	腐植	腐食
43ページ	図11 「田面施用」の説明文	田面施用が余分だと過繁茂やいもちが出る	穂肥が余分だといもちが出る
43ページ	図11 「穂肥」の説明文	穂肥が余分だと品質低下やいもちが出る	実肥が余分だと品質が落ちる
53ページ	図18 左図	<p>5月区</p> <p>累計発生率 (%)</p> <p>植代後日数0 20 40 60 80 (日)</p> <p>有効積算温度 100 200 300 500 700 (℃日)</p>	<p>5月区</p> <p>累計発生率 (%)</p> <p>植代後日数0 20 40 60 80 (日)</p> <p>有効積算温度 100 200 300 500 700 (℃日)</p>
91ページ	表6 「土」の「備考」欄	市販のpH調整された無肥料粒状培土を使用する	市販の無肥料粒状培土を使用する
91ページ	表6 「有機液肥」の「量」欄	80ml	8ml
154ページ	本文2段目6行目	腐植	腐食